

「悪路だったけど楽しいラリーだった。ササノガ
の味を見つけた瞬間、第3戦選手権がCクラス優勝

ベテラン④6綾部/草加選手組インプレッサ、悪路の第3戦ACKを制す

Bクラスは参戦3年目の⑥増村/吉田選手組が全日本戦初優勝

全日本ラリー選手権第3戦「ACKスプリングラリー」を冠え、本格的なグラベルステージへ突入した。今回は阿蘇レーシングパークでのSSを含む阿蘇の量を遥るふたつのステージが用意されたが、当日の阿蘇は46cmという記録的な最大瞬間風速をマークしたほどの大荒れのコンディション。しかしオフィシャルの献身的な協力により、アクシデントもなく、ラリーは無事、滞りなく開催されることとなった。

まず第1ステージ、Cクラスをリードしたのはクラス3年目の⑧新井敏弘/中田若吾選手組インプレッサ。レーシングパークでの3本のSSを2位、1位、4位とこなし、率先のよいスタートを切った⑧新井選手組は、最初のナイトステージに入ってもハイアベレージのラリー区間を最小減点に留めるなど好調さを維持、SS5でも2番手に5秒差をつけるタイムを叩き出し、首位で折り返す。

第2ステージに入ると15秒差で2位につけていた④綾部美津雄/草加浩平選手組インプレッサがペースアップするが、⑧新井選手組も負けじと応戦。この日4度目のハイアベレージでも最小減点を記録して、再び17秒のアドバンテージ。しかしCクラス初優勝を目前とした⑧新井選手組のインプレッサは残す所僅かとなったSS8で、エンジンが水を吸ってストップし、致命的なタイムロス。これで④綾部選手組が首位に浮上。第2ステージを最小減点に抑え切って、今季初優勝を飾った。なお2位には⑥増村幸彦/大塚敏夫選手組インプレッサが入賞し、ポイントリーダーの座を守り通している。

Bクラスは地元九州勢の一角⑩吉武正博/山北研二選手組マツダRがレーシングパークでのSSで大差をつけ、第1ステージをトッ

プで折り返したが、コンディションが悪化した第2ステージに入ると徐々に後退。2番手集団を形成していた⑩田口幸宏/藤田浩一選手組、⑨藤田豊/脇坂豊組の上位ランカーもタイムが伸び悩む中、SS、ラリー区間ともソツなくまとめてきた⑥増村幸彦/吉田和広選手組ミラージュがステージ中盤でトップに立つ。「スタビライザーを補強したことがコーナリ



ランサー・エボリューション目録全日本戦にも進んでデビューした。



Aクラスは「悪天は自信があるんです」と言葉通りの実力を見せた藤/秋竹選手組ヴィヴィオが優勝。



C2位の藤井選手、「雨がもう少し少なければ……、とても苦しいラリーだった」。彼がイントリーダービ。



藤井選手は「雨がもう少し少なければ……、とても苦しいラリーだった」。彼がイントリーダービ。



藤井選手は「雨がもう少し少なければ……、とても苦しいラリーだった」。彼がイントリーダービ。

ングで生きた」という谷増村選手組はその後もコンスタントに走りきり、猛追してきた③横山武浩/福村幸則選手組ミラージュを3秒差で振り切って、嬉しい全日本戦初勝利を飾った。

閉幕から2連勝を飾った栗津原豊選手が同日開催の全日本ダートトライアル選手権の主権に回り欠場。ミラとヴィヴィオの一騎討ちとなったAクラスは地元九州の藤村雅広/秋竹誠之選手組ヴィヴィオがサーキットSSでスピンを喫したものの、第1ステージから2番



スタート前までは晴った天気もラリーが始まると暗転……。

手に20秒差をつけてリード。「まだヴィヴィオでタイムの出せる走りかできていない」と言いながらも、第2ステージも圧倒的なタイム差で走り切り、昨年のマーチRでのBクラスに続き、2年連続でACKを制した。



「全日本に上がった年も3位、ACKはデントのハイルービと苦戦していた」藤村/秋竹選手組が3年目にして志願の全日本戦初勝利。

RESULT

●Aクラス

順位	車名	ドライバー/ナビゲーター	車種	タイム
1	藤村雅広/秋竹誠之	キャロッセ/ヴィヴィオ	1341	
2	平塚正樹/藤田正康	ミラージュ/ミラージュ	1424	
3	藤村雅広/福村幸則	アパレ/ヴィヴィオ	1434	
4	秋竹誠之/藤田正康	キャロッセ/ヴィヴィオ	1440	
5	栗津原豊/加藤隆之	バックアール/ GAS RING	1505	
6	高杉弘/本原隆夫	UXCレイブリック/ヴィヴィオ	1518	



藤村雅広/秋竹誠之選手組が優勝。

●Bクラス

1	藤村雅広/秋竹誠之	ALIX/ミラージュ	1422
2	藤村雅広/藤田正康	グループ4/ミラージュ	1425
3	栗津原豊/加藤隆之	バックアール/ミラージュ	1426
4	藤村雅広/福村幸則	ALIX/CMC/ミラージュ	1440
5	藤村雅広/藤田正康	DMC/フォルクスワーゲン/ミラージュ	1448
6	栗津原豊/加藤隆之	フォルクスワーゲン/マツダ	1451



藤村雅広/秋竹誠之選手組が優勝。

●Cクラス

1	藤村雅広/秋竹誠之	GAL/アパレ/インプレッサ	1228
2	藤村雅広/加藤隆之	キャロッセ/インプレッサ	1253
3	藤村雅広/福村幸則	フォルクスワーゲン/三菱ランサー	1264
4	藤村雅広/藤田正康	LONG SPOT/セリカ	1315
5	藤村雅広/加藤隆之	フォルクスワーゲン/インプレッサ	1327
6	藤村雅広/福村幸則	フォルクスワーゲン/インプレッサ	1368



藤村雅広/秋竹誠之選手組が優勝。